

NOUVEAU
DICTIONNAIRE
PRATIQUE

FRANÇAIS-
JAPONAIS

新 仏 和 中 辞 典

井上源次郎 田 島 清
共 編

改訂
岡 田 弘 中 原 俊 夫

白水社

LIBRAIRIE HAKUSUIISHA

新 仏 和 中 辞 典

¥ 1,400

昭和12年4月3日	初版発行
昭和26年8月30日	増補版発行
昭和30年3月20日	改稿版発行
昭和32年2月15日	32年版発行
昭和33年2月10日	33年版発行
昭和35年2月10日	35年版発行
昭和36年2月20日	36年版発行
昭和37年2月10日	37年版発行
昭和38年2月1日	38年版発行
昭和39年1月20日	39年版発行
昭和40年2月20日	40年版発行
昭和41年1月20日	41年版発行
昭和42年1月20日	42年版発行
昭和43年1月20日	43年版発行
昭和44年1月20日	44年版発行
昭和45年4月20日	45年版発行
昭和46年1月20日	46年版発行
昭和47年1月20日	47年版発行

井 上 源 次 郎
編 者 岡 田 弘
田 島 清
中 原 俊 夫
© 草 野 貞 之
発行者 寺 村 五 一

発行所 株式会社 白水社

東京都千代田区神田小川町3の24

101 電話東京(291)7811(代)振替東京33228

本文印刷・凸版印刷 変化表印刷・集美堂 製本・松房社

(分) 3585 (製) 00011 (出) 6911

Lettre de félicitations

de

Son Excellence Monsieur Charles Arsène Henry,

Ambassadeur de France au Japon

Le dictionnaire franco-japonais de
Mm. Gensiro Inoue et Hyoshii Tagawa
est une œuvre remarquable et qui rendra
les plus grands services aux rapports
intellectuels des deux pays. On ne peut
que leur être reconnaissant d'avoir
entrepris le grand labeur et que les
féliciter de l'avoir mené à bien.

Charles Arsène Henry

序

白水社が「模範佛和大辭典」を刊行したのは世界大戦後間もない頃のことであつた。その後この大辭典がわが佛蘭西語界になし來つた貢獻は到底限り知ることができない。そしてその内容の豊富なことにおいては今なほ他の追隨を許さないのである。しかしその第一版が公にされてから今日までの十數年間は、學術及び社會のあらゆる部門に亘つて、史上にその例を見ないほど目醒しい變遷を遂げてゐる。随つて、文化吸收の媒體となるべき辭典として、その收録語彙と新意義蒐集との範圍において、學徒の要望をより以上に満し得べき佛和辭典の刊行が必要となつて來た。かかる自然の情勢に導かれて編纂されたのが本辭典である。

「新佛和中辭典」は特に語學の高さにおいて E. Littré: Dictionnaire de la langue française 及び A. Hatfield et A. Darmesteter: Dictionnaire général de la langue française に努めて近からんことを願つた。新語と語の新しい意義を豊富に收録したことでは「模範佛和大辭典」の幾から來たものとして當然の責務を能ふ限り忠實に盡した。用例や熟語の量においてはその脇役たるに過ぎないが、基本的な副詞句や前置詞句は洩れなく收録したばかりでなく、新しい熟語や難解な特殊語法も、中辭典として能ふ限り廣範圍に亘つて選載することに努めた。然し茲に一つの大きな困難がある。

それは言葉が活物であるといふことである。言葉はその形態においても意義においても絶えず派生し或は逸脱して一時もその動きを停止しない。これに反して、ひとたび書かれた言葉即ち文字はいつまでも石の如く動かないのである。これは平凡な事實に過ぎない。けれどもこの宿命的乖離は、辭典を編纂する者にとつては常に名狀し難い悩みである。しかもこの悩みを、客觀的に言へばこの不可抗の隙を、いくらかでも緩和する道は唯一つしかない。それは今後絶えず新語彙の蒐集と新意義の把握に努めて不斷の補綴を怠らないことである。

惟ふに完璧への道は遠く険しい。この補綴の難事も到底われわれの獨力を以てしては達成は期し難い。多少とも日佛文化の向上に盡し得んことを念ずるわれわれの微意を諒せられて大方の示教と忌憚なき叱正を仰ぐことができれば幸である。

この辭典を世に送るに際して、特に帝國學士院囑託古野清人氏、立教大學教授河盛好藏氏、福岡高等學校教授大塚幸男氏、東京商工會議所書記中野英夫氏、法學士木内利三郎氏及び高田徳江女史、中村幸子女史の熱誠なる協力と、藝版印刷に於ける三秀會主島連太郎氏及び職工長須子貢一氏をはじめ職員並びに職工諸氏と製本に於ける中野和一氏並びに職工諸氏との翼賛なる協力に對し衷心より満足と感謝の意を表したい。

最後に特筆して感謝したいのは、東北帝國大學講師 杉 捷夫氏 が多忙な學究生活の時間を割愛して傾注された熱誠なる助力に對してである。その終始渝らざる協力には、われわれは如何に謝すべきかを知らない。

また本辭典の誕生に際して懇篤なる言葉を寄せられた 佛蘭西人使 シャルル・アルセース・ア

リー閣下に對し茲にわれわれは深甚なる敬意を表したい。

昭和十二年三月十五日

井 上 源 次 郎

田 島 清

改 稿 版 刊 行 に 際 し て

このたび本辞典の初版にのべられている趣旨をうけついで、Nouveau Petit Larousse Illustré の最新版と、J. E. Mamsion: Harrap's Standard French and English Dictionary の改訂新版とを参照して、稿を新たにし、語彙・用例・熟語・慣用語などについて全面的に補訂を加えた。

この新稿執筆については法政大学教授 岡田弘氏と大阪外国語大学助教授 中原俊夫氏とを煩わし重要語の補訂については更に東京大学教授 杉捷夫氏の援助を仰いだ。

なお、原稿整理や校正について佐野正利氏、水野明路氏、中谷弘光氏、江澤静子氏の熱誠な協力をうけた。凸版印刷株式会社版橋工場と大光堂製本所との当事者諸氏の努力もまた並々ならぬものがあった。

改稿版を世に送るに際して、上記の方々の筆舌に尽しがたい御厚意に深く思いを新たに、心からお礼を申しあげる。

昭和三十年三月一日

白 水 社

さきに本辞典の改稿版を世に送ってから早くも五年有余の歳月が過ぎ、その間フランスにおいては Quillet-Flammarion 版 Dictionnaire usuel (1956) や Nouveau Petit Larousse illustré (1959) のような新辞典や新版が刊行された。わが社はそれらの辞典を参照して、新たに約 3300 語を選び、本辞典の重版を機に増補し、記述にも若干の補加をした。

昭和三十五年一月十日

白 水 社 編 集 部

凡 例

1. 見出し語.

訳語の前のイタリック体大文字に～を連ねた形、例えば A～は、その語義においてはその語が大文字に始ることを示す。したがって、

anglais, e [ɑ̃glɛ, e:z] *adj.* 英国 (Angleterre) の。 — *n.* A～, 英国人。 — *n. m.* 英語。

この項においてイタリック体大文字の A は '英国人' を意味する場合にかぎり **Anglais, e** と書かれるべきことを示し、同様に **loup** [lu] *n. m.* の項における 'L～, (犬) 狼座' は '狼座' の原語が **le Loup** であり, **midi** [midi] *n. m.* の項における 'M～, 南部フランス' は '南部フランス' の原語が **le Midi** であることを示す。

二通り以上の綴りのある語は、アルファベットの順序上、原則として二語とも同じ場所に並んでいる。別の場所に掲げるときは、最も普通の形にのみ誤を施し、他の形には = を付してその基本形を見ればよいことを示した。

形容詞には、男女性不変の語を除きすべて女性の語尾変化を示した。男性と女性が著しく形を異にするものは女性の全形を示した。

abandonné, e [abɑ̃dɔne] において女性は **abandonnée** [abɑ̃dɔne] であり、

adéquat, e [adekwa, at] において女性は **adéquante** [adekwa:t] であり、

adjectif, ive [adɛktif, iv] において女性は **adjective** [adɛktiv] であり、

adjuvant, e [adɥvɑ̃, ɑ̃:t] において女性は **adjuvante** [adɥvɑ̃:t] であり、

aboyeur, euse [abwaʝœr, ø:z] において女性は **aboyeuse** [abwaʝø:z] であり、

accélérateur, trice [akseleratœr, tris] において女性は **accélératrice** [akseleratris] であり、

bref, ève [bref, iv] において女性は **brève** [brøv] であり、

français, e [frɑ̃sɛ, e:z] において女性は **française** [frɑ̃sɛ:z] であり、

frais, fraîche [fʁɛ, fʁɛʃ]; **franc¹, franque** [frɑ̃, frɑ̃k]; **franc², franche** [frɑ̃, frɑ̃ʃ]; **long, longue** [lɔ̃, lɔ̃g], etc. において女性はそれぞれ **fraîche** [fʁɛʃ]; **franque** [frɑ̃k]; **franche** [frɑ̃ʃ]; **longue** [lɔ̃g] であることを示す。

また動詞の現在分詞および過去分詞から転来した形容詞については、不規則動詞から転来したものにのみ見出し語の後に丸括弧に入れて次のように示した。

satisfaisant, e [satisfɛzɑ̃, ɑ̃:t] (*part. prés.* < satisfaire)

abstrait, e [apɑtʁɛ, ɛt] (*part. pass.* < abstraire)

人や動物をあらわす名詞で男女性形を異にするものには、女性の語尾変化を示した。

berger, ère [berʝɛ, ɛr] において女性は **bergère** [berʝɛ:r] であり、

orphelin, e [orfɛlɛ, in] において女性は **orpheline** [orfɛlin] であり、

chat, chatte [ʃa, ʃat] において女性は **chatte** [ʃat] であることを示す。

名詞や形容詞で、複数が不規則変化をなすものは、複数の語尾変化または全形を示した。

bateau, eux [bato] *n. m.* において複数は **bateaux** [bato] であり、

travail, aux [trava:j, o] *n. m.* において複数は **travaux** [travo] であり、

égal, e, aux [egal, o] *adj.* において男性複数は **égaux** [ego] であり、

feu, e, eus [fø] *adj.* において男性複数は **feus** [fø] であることを示す。

代名動詞としてのみ用いられる動詞および見出しに掲げた語が常に前置詞や定冠詞などに先立たれて用いられるものは、再帰代名詞 *se* あるいはその付帯する語を丸括弧に入れて見出し語の後にやや字間をあけて掲出した。したがって、

repentir (se) は **se repentir** [sɛrɛpɑ̃tir], **globo (in)** は **in globo** [ɛglobo]; **improvisé (à l')** は **à l'improvisé** [alɛprovizɛ]; **jeun (à)** は **à jeun** [ɛʝœ]; **outre-monts (d')** は **d'outre-monts** [dutʁomɔ̃] としてのみ用いられることを示す。

綴りと発音が全く同一で語原や転来系統が必ずしも同一ではないと考えられる見出し語には **air¹, air², air³; truc¹, truc²** の如く(右肩に)番号を付けて検索上の便をはかった。

2. 熟語、慣用句、文例。

熟語、慣用句、文例においては、～を用いて見出し語の反復に代えた。但し、形容詞の男性複数、女性単数、女性複数の規則変化形は、それぞれ **～s, ～e, ～es** をもってあらわし、不規則変化をしている名詞、形容詞および活用された動詞などはイタリック体を用いてその全形を表した。

long, longue [lɔ̃, lɔ̃g] *adj.* の用例において **papier ～** は **papier long** を意味し、**avoir les bras ～s** は **avoir les bras longs** を意味する。

rebattu, e [rəbaty] *adj.* の用例において **être ～ de; avoir les oreilles ～es de** は **être rebattu de; avoir les oreilles rebattues de** を意味する。

aller [alɛ] *v.* の用例において **il va épiant. の va** が **aller** の活用形である。

vouloir [vulwa:r] *v.* の用例において **Dieu veuille qu'il fasse beau (temps).** の **veuille** が **vouloir** の活用形である。

熟語、慣用句、文例において、丸括弧に挟まれた語句は、それが省略される言い方もあることを示すが、疑問のおそれのない場合には丸括弧を用いて同一用例中に二通りの言い方を含ませた。

vouloir [vulwa:r] *v.* の用例において **Veuillez (bien) faire cela. は Veuillez bien faire cela.** とも言い **Veuillez faire cela.** とも言うことを意味し、**le bonheur (malheur) a voulu que...** は **le bonheur a voulu que...** と **le malheur a voulu que...** との二つの異なる言い方を含む。

3. 動 詞

er 語尾の純然たる規則動詞を除いて、発音の関係から若干の例外的変化をする er 語尾の動詞及び **ir, oir, re** の語尾をもつ全部の動詞に、その変化系統を示す番号を付けた。この番号は本辞典の巻末にある動詞変化表の七十七種の動詞に照応する。

不規則動詞の変化形のうち、その原形が比較的わかりにくいものを見出し語として掲げた。

prévenir-s, -t [prevjɛ] **prévenir**, 直・現・一(二)・単; 三・単, は

prévient が **prévenir** の直説法・現在・一人称・単数および直説法・現在・二人称・単数であり、**prévient** が **prévenir** の直説法・現在・三人称・単数であることを示し、

prom-is, -it, -il [promi] **promettre**, 直・過・一(二)・単; 三・単; 接・半・一・単, は

promis が **promettre** の直説法・単純過去・一人称・単数および直説法・単純過去・二人称・単数であり、

promit が **promettre** の直説法・単純過去・三人称・単数であり、

promit が **promettre** の接続法・半過去・三人称・単数であることを示す。

但しいくつかの変化形を同一項目に並べて掲げた場合には、それぞれの変化形の法・時・人称・数をこのように簡単に示していくので、そういう場合などは単に原形を示すにとどめたから、検索者は適宜巻末の「動詞変化簡例」を参照されたい。

不規則動詞の変化形の説明に用いた略語は次の通りである。

直＝直説法	条＝条件法	命＝命令法	接＝接続法	現＝現在
半＝半過去	過＝単純過去	未＝未来	一＝一人称	二＝二人称
三＝三人称	単＝単数	複＝複数		

発音記号略解

フランス語と日本語との発音法にはいろいろ相違があるが、不完全ながらも近似音を示して完全への到達を助けるため、ここに万国音標文字を挙げ仮名文字や簡単な説明をもっておよその発音を示しておく。

母 音

- i イの短音; i, e, ε, a は前舌非円唇母音: vif [vi:f], vite [vit], (英) fit [fit].
 i: イの長音; iー: rive [ri:v], livre [li:v], (英) been [bi:n].
 e 口の開きを狭くして発音するエの音: été [ete], aller [ale], (英) net [net].
 ε エに近い音; エ音 e 音より口の開きを大きくする: elle [el], pêcheur [pɛ:œ:r], (英) Mary [ˈmæri].
 ε: εの長音; エー: rêve [re:v], mère [mæ:r].
 a アの短音: patte [pat], ma [ma], (英) life [laif].
 a: aの長音; アー: rage [ra:ʒ], canard [kana:r].
 ɑ 後母音のア; 舌をア音 ɑ 音を出す時よりも一層低くする: pas [pa], mois [mwa], (英) a-ha [aˈha:].
 ɑ: ɑの長音; アー: âme [ɑ:m], pâte [pa:t], (英) glance [glɑ:ns].
 ɔ 唇を円くして舌の奥とうんと下げて発音するオの音: robe [rɔb], comme [kom], (英) box [bɒks].
 ɔ: ɔの長音; オー: tort [tɔ:r], bord [bɔ:r], (英) all [ɔ:l].
 o オの短音: côté [kote], eau [o], (英) narrow [ˈnærou].
 o: oの長音; オー: côte [ko:t], rose [ro:z].
 u 唇を円くして突き出し舌の後方をできるだけ口蓋に接近させて出すウの音; u, o, ɔ, ɑ は奥舌円唇母音: tout [tu], goût [gu], (英) book [buk].
 u: uの長音; ウー: rouge [ru:ʒ], jour [ʒu:r], (英) rule [ru:l].
 y 唇をuのようにして i を発音する; ュに似た音; y, ø, œ, ɔe は前舌円唇母音: culte [kylt], duc [dyk].
 y: yの長音; ューに似た音: ruse [ry:z], dur [dy:r].
 ø 唇をoのようにして e を発音する; いくらかウに似た音: peu [pø], heureux [œrø].
 ø: øの長音; いくらかウーに似た音: creuse [krø:z], feutre [fœ:tr].
 œ 唇をɔのようにして ε を発音する; いくらかウに似た音: seul [sœl], neuf [noef].
 œ: œの長音; いくらかウーに似た音: peur [pœ:r], voleur [volœ:r].
 œ ø, œ と類似の音であるがアクセントのない音節にのみ用いられる弱い曖昧な音; アの如くウの如く聞こえる弱音: le [lə], recevoir [rəsevwa:r], (英) ivory [ˈaivəri].
 ɛ ε を口と鼻と両方から出す音; エンによりも寧ろアンに似た鼻母音 (但しフランス語の鼻母音には n の音はない): pain [pɛ], vin [vi].
 ɛ: ɛの長音; いくらかアーンに似た音: prince [prɛ:s], plaindre [plɛ:dr].
 ɑ ɑ を口と鼻と両方から出す鼻母音; アン: enfant [ɑfɑ], temps [tɑ].
 ɑ: ɑの長音; アーン: danse [dɑ:s], centre [sɑ:tr].
 ɔ ɔ を口と鼻と両方から出す鼻母音; オン: long [lɔ], sont [sɔ].
 ɔ: ɔの長音; オーン: honte [ɔ:t], compte [kɔ:t].
 œ œ を口と鼻と両方から出す音; オンによりも寧ろアンに似た鼻母音: un [œ], parfum [parfœ].
 œ: œの長音; いくらかアーンに似た音: humble [œ:bl].

子 音

- p パ, ビ, プ, ペ, ポの子音: point [pwɛ], frapper [frape], (英) proper [ˈprope].
 b バ, ビ, プ, ペ, ポの子音: bon [bɔ], abbé [abe], (英) babe [beib].
 t テ, テ, トの子音: tirer [tire], perte [pert], (英) tell [tel].
 d テ, デ, ドの子音; トの濁音: dire [di:r], bande [bɑ:d], (英) bed [bed].

- k カ, キ, ク, ケ, コの子音: camp [kɑ], qui [ki]. (英) keen [ki:n].
- g ガ, ギ, グ, ゲ, ゴの子音; k の濁音: gant [gɑ], langue [lɑ:g]. (英) gift [gift].
- m マ, ミ, ム, メ, モの子音: mon [mɑ], blâmer [blame]. (英) my [mai].
- n ナ, ニ, ヌ, ネ, ノの子音: nous [nu], sienne [sjen]. (英) nine [nain].
- ɲ ニャ, ニュ, ニョの子音に似た子音: ɲj に似た音: espagnol [ɛspɑ:ɲɔl], borgne [bɔ:ɲ].
- l 舌尖を上歯と歯に軽くつけ舌の両側から出すラ, ル, レ, ロの子音: lait [lɛ], aile [al]. (英) liver [lɪvə].
- r 舌の後方と喉で発音する微弱なラ, ル, レ, ロの子音: faire [fɛ:r], rare [ra:r]. (英) parrot [ˈpærət].
- y 母音 y に似た半母音. 即ち重母音 ui (ユイに似た音)において母音 i に対し従属的關係に立つ非音節的母音; 音標記号の ya, ye, yi などをもって示される音において y を重視せず a, e, i を十分に発音する心持でこれらの重母音を同時に発音するならば y は両唇と舌の作用で半ば子音化され y 音(微弱なユに似た音)となる: nuit [nuɪ], nuage [nyɑ:ʒ], muer [myɛ].
- w ワの子音; 微弱なウに似た音: oui [wi], loi [lwi]. (英) wet [wet].
- f フア, フイ, フェ, フオの子音; 下唇を軽く上歯に触れる: fort [fɔ:r], phrase [fʁa:z]. (英) differ [ˈdɪfə].
- v フの濁音: vache [vaʃ], vive [vi:v]. (英) very [ˈveri].
- s サ, セ, ソの子音: sel [sɛ], chasse [ʃas]. (英) ass [æs].
- z ザ, ゼ, ゾの子音; s の濁音: zèle [zɛ:l], position [pozɛsjɔ], (英) zeal [zi:l].
- ʃ シャ, シ, シュ, ショの子音; s よりも舌を上げ両唇を突き出す: chat [ʃa], chapeau [ʃapo]. (英) rash [ræʃ].
- ʒ ジャ, ジ, ジュ, ジェ, ジョの子音; j の濁音: jardin [ʒardɛ], je [ʒə]. (英) vision [ˈvɪʒən].
- j ヤ, ユ, ヨの子音; y が y から, w が u から転じた半母音であるように j は i から転じた半母音: yeux [jœ], bien [bjɛ] (英) you [ju:].
- i:j, e:j, a:j, o:j, œ:j u:j これらの重母音における j には極く微弱なユの音がはいってユに近い音が発せられる: Marseille [marsɛ:j] (マルセイユ), Versailles [vɛrsa:j] (ヴェルサイユ).

外来語音

- n 英語の king, bank などの n が鼻にかかったガ行の子音で発音される音. 外来語の ping-pong [pɪŋpɒŋ], racingclub [ˈresɪŋklʌb], Viking [ˈvɪkɪŋ] などの -ing の音綴における n の音. 後舌面を軟口蓋につけて閉ざす. ノグに似た音.
- dz d と z の複子音: scherzando [ʃkɛrdzɑdo], scherzo [ʃkɛrdzo].
- dʒ d と ʒ の複子音: adjectif [adʒɛktɪf], adjoindre [adʒwɛ:dr], bridge [brɪdʒ].
- *ts t と s の複子音: scherzo [ʃkɛrtso], tsar [tsa:ɹ], tzigane [tsɪɡan].
- tʃ t と ʃ の複子音: tchèque [tʃɛk], tchervonetz [tʃɛrvɔnɛtʃ].

略 語

〔医〕……………医 学	〔古〕……………古 語	〔地〕……………地 理
〔伊〕……………イタリア語	〔語〕……………語 学	〔彫〕……………彫 刻
〔印〕……………印 刷	〔考〕……………考 古 学	〔鳥〕……………鳥 類 学
〔運〕……………運 動	〔光〕……………光 学	〔哲〕……………哲 学
〔英〕……………英 語	〔鉱〕……………鉱 物 学	〔鉄〕……………鉄 道 文
〔映〕……………映 画	〔工〕……………工 学	〔天〕……………天 文
〔園〕……………園 芸	〔昆〕……………昆 虫	〔電〕……………電 気 学
〔織〕……………織 物	〔採〕……………採 鉱	〔独〕……………ドイツ語
〔音〕……………音 楽	〔裁〕……………裁 縫	〔童〕……………童 語
〔化〕……………化 学	〔詩〕……………詩 語	〔動〕……………動 物 学
〔絵〕……………絵 画	〔史〕……………歴 史	〔農〕……………農 芸 学
〔海〕……………海 事	〔写〕……………写 真 術	〔馬〕……………馬 術
〔解〕……………解 剖	〔修〕……………修 辞 学	〔博〕……………博 物 学
〔学〕……………学 校 用 語	〔宗〕……………宗 教	〔文〕……………文 法 学
〔機〕……………機 械	〔獣〕……………獣 医 学	〔方〕……………方 言 学
〔稀〕……………稀 用 語	〔商〕……………商 業	〔法〕……………法 律 学
〔希〕……………ギリシア語	〔城〕……………築 城 学	〔紋〕……………紋 章 学
〔球〕……………球 戯	〔植〕……………植 物 学	〔冶〕……………冶 金 学
〔漁〕……………漁 業	〔神〕……………神 学	〔薬〕……………薬 学
〔魚〕……………魚 類 学	〔心〕……………心 理 学	〔遊〕……………遊 戯 学
〔空〕……………航 空 学	〔数〕……………数 学	〔羅〕……………ラテン語
〔軍〕……………軍 事	〔西〕……………スペイン語	〔理〕……………物 理 学
〔経〕……………経 済	〔政〕……………政 治	〔獣〕……………狩 猟 学
〔芸〕……………芸 術	〔生〕……………生 理 学	〔料〕……………料 理 学
〔劇〕……………演 劇	〔染〕……………染 色 学	〔論〕……………論 理 学
〔剣〕……………剣 術	〔船〕……………船 舶 学	
〔建〕……………建 築	〔俗〕……………俗 語	

注意：二字以上からなるもので、おのずから意義の明かなもの、例えば〔地質〕〔古ローマ〕などは上表から除いた。

adj. ……adjectif (形容詞)

adj. dém. adjectif démonstratif (指示形容詞)

adj. f. ……adjectif féminin (女性形容詞)

adj. ind. adjectif indéfini (不定形容詞)

adj. interr. adjectif interrogatif (疑問形容詞)

adj. num. adjectif numéral (数形容詞)

adj. pöss. adjectif possessif (所有形容詞)

adv. ……adverbe (副詞)

art. ……article (冠詞)

art. déf. article défini (定冠詞)

art. ind. article indéfini (不定冠詞)

conj. ……conjunction (接続詞)

f. ……féminin (女性、女性の)

impers. ……impersonnel (非人称の)

ind. ……indicatif (直説法)

inf. ……infinitif (不定法)

interj. ……interjection (間投詞)

inv. ……invariable (不変化の)

loc. adv. locution adverbiale (副詞句)

loc. conj. locution conjonctive (接続詞句)

loc. lat. ……locution latine (ラテン語慣用句)

loc. prép. locution prépositionnelle (前置詞句)

m. ……masculin (男性、男性の)

n. ……nom (名詞、男女性共通のもの、時に性のない地名なども含む)

n. f. ……nom féminin (女性名詞)

n. f. inv. nom féminin, pluriel invariable (複数不変の女性名詞)

n. f. pl.nom féminin pluriel (複数女性名詞)
n. m.nom masculin (男性名詞)
n. m. inv.nom masculin, pluriel invariable (複
 数不変の男性名詞)
n. m. pl.nom masculin pluriel (複数男性名詞)
neut.neutre (中性, 中性の)
part. pass.participe passé (過去分詞)
part. prés.participe présent (現在分詞)
pl.pluriel (複数, 複数の)
prép.préposition (前置詞)
pron.pronom (代名詞)
pron. dém.pronom démonstratif (指示代名詞)
pron. ind.pronom indéfini (不定代名詞)
pron. interr.pronom interrogatif (疑問代名詞)

pron. pers.pronom personnel (人称代名詞)
pron. poss.pronom possessif (所有代名詞)
pron. rel.pronom relatif (関係代名詞)
qchquelque chose (或物) [本辞典において
 は「何」と訳す]
qnquelqu'un (或人) [本辞典においては「誰」
 と訳す]
sing.singulier (単数, 単数の)
sub.subjonctif (接続法)
v. aux.verbe auxiliaire (助動詞)
v. i.verbe intransitif (自動詞)
v. impers.verbe impersonnel (非人称動詞)
v. pr.verbe pronominal (代名動詞)
v. t.verbe transitif (他動詞)

目 次

シャルル・アルセーヌ・アンリ・フランス大使のことば	ii
序	iii
凡 例（この辞典を利用する手引き）	v
発音記号略解	vii
略 語（見出し語の説明に使ってある日本語およびフランス語の略語表）	ix
辞 典（新仏和中辞典の本文）	1
ABRÉVIATIONS USUELLES（フランス語の常用略語）	1210
文法概要 目次	1221
文 法 概 要	1222
動詞変化簡例 目次	1241
動詞 avoir の変化（発音付き）	1242
動詞 être の変化（発音付き）	1244
不定法の語尾 -er, -ir, -oir, -re の各動詞の語尾変化一覧表（発音付き）	1246
時の構成に関する注意	1247
第1変化（不定法の語尾 -er）	1248
第2変化（不定法の語尾 -ir）	1254
第3変化（不定法の語尾 -oir）	1260
第4変化（不定法の語尾 -re）	1264
第5変化（代名動詞）	1272
動詞変化簡例 索引	1274
不定法を伴う場合の動詞表	1275

NOUVEAU DICTIONNAIRE PRATIQUE FRANÇAIS-JAPONAIS

A

A, a [a] n. m. フランス語の第一字母: (音) イ音: (論) 全称肯定判断の記号: (数) 第一の既知数: (俗) 彼女, 彼女ら. connaître qch depuis A jusqu'à Z, 何を一から十まで知っている. Il ne sait ni a ni b. 目に一丁字もない. marqué à l'A, 上等の, 極上の.

a [a] avoir, 直 現 三・単.

à [a] prép. ① (方向, 目的, 到着点を示す) に, へ, ま で. aller à l'école, 学校へ行く. arriver à sa destination, 目的地に着く. Au feu! 火事だ. Au voleur! どちら. courir à qn, 誰のところに走って行く. se battre homme à homme, 一対一で戦う. se rendre au Japon, 日本へ行く. traduire mot à mot, 一語ずつ翻訳する. 逐語訳をする. Les feuilles tombent une à une. 木の葉が一葉また一葉と散っている. ② (時間・方向, 境界を示す) に, ま で. A demain! では明日. à jamais, いままで. attendre à plus tard, もっと遅くまで待つ. du matin au soir, 朝から晩まで. enfant de sept à neuf ans, 七つないし九つの子. ③ (場所・ものを示す) に, で, において, の地点に. à deux kilomètres de la gare, 駅から二キロのところに. avoir qch à la main, 何を手にしている. être à la maison, 家にいる. 在宅する. demeurer à Lyon, リヨンに住む. ④ (時間・ものを示す) に, の時に. à cinq heures, 五時に. à mon arrivée, 私の着く(着いた)時に. à ses cris, 彼の叫びを聞いて. arriver à temps, 時間に(後れずに)到着する. au mois de mai, 五月に. ⑤ (動作, 状態の特徴を示す) A quel prix vendez-vous cela? 幾らでそれを売りますか. Je l'ai fait à moi seul. それを自分一人です. 作った. faire les choses à sa guise, 自分の好きなように事を運ぶ. louer une maison à l'année, 一年契約で家を貸す. manger à sa faim, たらふく食う. nager à la chien, 犬みたいな泳ぎ方をする. Nous l'avons fait à deux. 私たちは二人でそれをやった. prendre qch au sérieux, 何を真(ま)に受ける. recevoir qn à bras ouverts, 両手を広げて誰を迎える. 誰を歓迎する. à la française, フランス風に. roman écrit à la Stendhal, スタンダール風の小説. ⑥ (動詞の間接補語を導く) に, から. acheter qch à qn, 何を誰から買

う. appartenir à qn, 誰のものである. donner qch à qn, 何を誰に与える. obéir à qn, 誰に従う. ôter qch à qn, 何を誰から取上げる. parler à qn, 誰に話す. penser à qn, 誰のことを思う. se mettre au travail, 仕事にかかる. ⑦ (名詞補語を作る) (a) (用途) chambre à coucher, 寝室. cuiller à thé, 茶さじ. machine à laver, 電気洗濯機. (b) (動力) bateau à voiles, 帆船. machine à vapeur, 蒸気機関. moulin à vent, 風車. (c) (特徴) garçon aux yeux bleus, 青い目の男の子. ver à soie, かいこ. (d) (入りの) café au lait, ミルクコーヒー. chou à la crème, シュークリーム. (e) (所有) J'ai de l'argent à moi. 私には自分の金がある. un livre à moi, 私の本. (f) (名詞の補語となる不定法を導く) son plaisir à nous revoir, 私たちに再会する彼の喜び. accident à prévoir, 予測さるべき事故. J'ai une lettre à écrire. 書かねばならぬ手紙がある. règle à observer, 守るべき規則. spectacle à ravir, 心を奪う光景. ⑧ (形容詞の補語を導く) (a) (補語が名詞の時) être fidèle à son maître, 主人に忠実である. être obéissant aux lois, 法律に従っている. (b) (補語が不定法の時) Je suis prêt à vous dire la vérité. いつでも本当の事をお話します. Vous êtes le premier à le remarquer. あなたが一番先にそれに気がついた. ⑨ (être の次に用いられる特殊な場合) (a) (c'est à ... de inf.) C'est à vous de décider. あなたが決めなければならない. (b) (所有) Ce parapluie est à lui. その傘は彼のものだ. (c) (不定法に従え) "...さるべき"の意を示す Il est à plaindre. 彼は憐れな男だ. il est à noter que..., ...に注意の要がある. (d) (時) Il est à travailler. 彼は仕事だ. ⑩ (真正主語となる不定法を導く) Il me reste à vous remercier. まだお礼を申し上げておりません. ⑪ (直接補語となる不定法を導く) aimer à lire, 読書を好む. apprendre à nager, 水泳を習う. avoir à faire qch, 何をしなければならぬ. donner à manger à qn, 誰に食物を与える. ⑫ (en...d inf.) Il en est venu à mendier son pain. 彼はついに食を乞う身となった. Nous en sommes à la page 37. 三十七頁まで進んでいる. ⑬ (不定法に従

え条件を示す) *à compter de ce jour*, その日から数えて, その日から, *à la voir*, 彼女に会えば。A les croire, pas une âme n'aurait survécu. 彼らの言を信じれば一人も生き残ってはいないらしい。A partager les mêmes périls on apprend à se connaître. 危険をともにすればお互いの心が分かるようになる。A vivre ainsi vous vous abîmez la santé. そんな生活をすれば健康とそこなす。⑧(不定法を従え強さの程度を示す) bruit *à tout casser*, すごい物音。Elle est laide *à faire peur*. そつとするほど醜い。Il a de l'argent *à n'en savoir que faire*. 使い途に困るほど金がある。Il courait *à perdre haleine*. 息も切れんばかりに走っていた。Il gèle *à pierre fendre*. 石も割れるほどの(ひどい)凍り方だ。〔ボスラテン系接頭語〕

ab- [a], **ab-** [ab] 「疎隔, 抽出, 分離, 欠如」の意を有する。 **ababouine**, *e* [ababouine] *adj.* 〔古〕〔海〕風(暴)に遭つて航行不能の(帆船について)。 「一種; マニウ麻」 **abaca** [abaka] *n. m.* フリッピン産ばし(芭蕉)の。 **abaissable** [abaisabl] *adj.* 引下げられる。

abaissant, *e* [abəsɑ̃, ɑ̃t] *adj.* 引下げる; 品位を落す。

abaissant へ, 下品な行爲。

abaisse [abais] *n. f.* 麵粉(等)でのばしたお餅。

abaisse-langue [abəsaloŋ] *n. m. inv.* 〔医〕圧舌子。

舌押え。

abaissement [abəsɑ̃] *n. m.* (物価などを) 引下げること; (腕などを) おろすこと; (気温などの) 低下, 降下。 (土地などの) 沈下; 屈辱。 ～ *de courant*, 電流の引下げ。 ～ *des eaux*, 水位の低下。 *vivre dans l'～*, 失意の生活を送る。

abaïsser [abais] *v. t.* 引下げる, おろす, 低くする; 辱しめる; 減じる。 (数) (方程式の) 次数を下げる。 ～ *une perpendiculaire à une ligne*, 或る線に垂線を下す。 *s'～*, *v. pr.* 低くなる, 下がる, 沈下する; 卑下する。身を卑しくする。 *La température s'abaisse*. 気温が下った。 *s'～ à (jusqu'à) faire qch*, 身を落したあげく何までする。

abaïssure, *euse* [abəsœr, øz] *adj.* 引下げる; 〔医〕

下撃する。 *muscle ～*, 下撃筋。 *～ n. m.* 下撃筋; 減

張神経; 血圧下降剤。 〔料〕 頰肉 (豚, 子牛の)。

abajoue [abaju] *n. f.* (狼などの) 頰袋; たるんだ頰。

abaliénation [abaljenasj] *n. f.* 〔ロマ法〕譲渡。

abaliéner [abaljene] *v. t.* 6 〔法〕譲渡する。

abalourdïr [abalurdir] *v. t.* 16 愚鈍にする。

s'～, *v. pr.* 愚鈍になる。 「こと; 愚鈍」

abalourdïssement [abalurdisemɑ̃] *n. m.* 愚鈍にする

abandon [abɑ̃dɑ̃] *n. m.* 打捨てること; (権利などの) 放棄;

委付; 遺棄; 無拘束; 信頼; 心安さ; 自由。 *à l'～*, せつらに; 漂流中の(船)。 *faire l'～ de qch à qn*, 何を誰に譲渡する。 *mourir dans un ～ général*, みに見捨てられて死ぬ。 「委付できる; 遺棄できる」

abandonnable [abɑ̃dɔnable] *adj.* 放棄してよい; 〔法〕

abandonnataire [abɑ̃dɔnatɑ:r] *n. f.* 譲受人; 委

付される人。 「譲渡人; 委付者」

abandonnateur, *trice* [abɑ̃dɔnatœr, tris] *n.* 〔法〕

abandonné, *e* [abɑ̃dɔne] *adj.* 打捨けられた, 見捨て

られた; 放棄な, 無頼の, 恥知らずの; ますばらしい;

〔法〕委付された; 漂流している。 ～ *de tous*, 皆から見

捨てられた。 ～ *par les médecins*, 医者から見放さ

れた。 ～ *n.* 見捨てられた人; だらしのない人; 恥知らず, 無

頼の徒; 身持の悪い女。

abandonnement [abɑ̃dɔnmɑ̃] *n. m.* 放棄; 遺棄; 委

付; 放棄, 無頼, 厚顔。 「く, 思いのままに; 厚顔に」

abandonnement [abɑ̃dɔnemɑ̃] *adv.* 遠慮会釈もな

abandonner [abɑ̃dɔne] *v. t.* 見捨てる, 放棄する; 委

付する; 遺棄する; 譲渡する。 ～ *ses prétentions*, 主張を捨てる。 ～ *une corde*, 手をゆるめて綱を伸ばす。 *Mes forces m'abandonnent*. 力がぬけた。

s'～, *v. pr.* 自分を頼まない; 勇気を挫く; 身を委せる (神などに); 耽る; 身なりをかまわない。 *s'～ au sommeil*, ぐっすり眠る。

abandonneur, *euse* [abɑ̃dɔnœr, øz] *adj.* 見捨てる

。 ～ *n.* 見捨てる人。

abaquarrer [abakare] *v. t.* 描く (方眼紙などに)。

abaque [abak] *n. m.* 計算器 (古ローマ人の用いたそろばんの一種); (遊戯, 読書用) 卓; 〔食〕食器棚。

abas [aba] *n. m.* にわか雨 (= abat)。

〔建〕延板。

abasie [abezi] *n. f.* 〔医〕歩行不能症。

abasourdir [abazurdir, abasur-] *v. t.* 耳を聳る;

茫然とさせる; 驚かす。 *Nous restâmes abasourdis de la nouvelle*. その報知に茫然とした。

abasourdissant, *e* [abazurdisɑ̃, abasur-, ɑ̃t] *adj.*

耳を聳えんばかりの; 仰天させる, 啞然とさせる。

abasourdissement [abazurdisemɑ̃, abasur-,] *n. m.*

耳を聳ること; 啞然とさせること。

abat [aba] *n. m.* 打倒れこと, 切倒れこと, 殺すこと; に

わか雨, どしどし降り (＝ *d'eau de pluie*); *pl.* 脛肉。

l'～ *des animaux*, 動物の脛肉。

abat [aba] *abatte*, 直・現・三・単。

abatage [abataʒ] *n. m.* = *abattage*。

abattant [abatɑ̃] *n. m.* 揚げ蓋(窓); 落し戸; (封筒の)

折返し片; 回転式天窓。

abâtardi, *e* [abatardi] *adj.* 退化した; 墜落した。

abâtardir [abatardis] *v. t.* 16 退化させる; 墜落させる

(品質を) 落す; (人格などを) 下げる。

s'～, *v. pr.* 退化する; 墜落する; 低下する。

abâtardissement [abatardisemɑ̃] *n. m.* 退化; 墜落;

abâtée [abate] *n. f.* = *abattée*。

abat-faim [abafɛ] *n. m. inv.* (食事の初めに供する)

腹ごしらえのできる料理。

abat-loin [abatwi] *n. m. inv.* 床(じ)の落し口 (家畜

小屋の上の納屋の床に設ける)。

abatis [abati] *n. m.* = *abattis*。

abat-jour [abaju:r] *n. m. inv.* (ランプの) 等; (目の)

遮光器, フィッシュ; 目よけ; 天窓。 *mettre la main en ～*, 籠手(さ)をかざす。

abats [aba] *abatte*, 直・現・(二)・単。

abat-son [abasɔ̃] *n. m. inv.* 反響板 (音を地上によ

くつたえるため鏡様の窓の前方に下向きに斜へ

〔鏡(さ)のようにおき並べた数枚の鏡板)。

「させる」

abattable [abatabl] *adj.* 打倒れる, 切倒れる; (つが

abattage [abataʒ] *n. m.* 打倒れこと, 切倒れこと; 屠

殺; 採掘; 掘(さ); (俗) 小, 小, 叱責。 *recevoir un ～*,

(俗) 小言を食う。

abattant, *e* [abatɑ̃, ɑ̃t] *adj.* (雲などが) へどへとに

させる; (腰掛などが) 折畳める。 *siège ～*, (自動車な

どの) 折畳み座席。 ～ *n. m.* 揚げ蓋(窓); 落し戸; (封

筒の) 折返し片; 回転式天窓。

abattée [abate] *n. f.* (海) (船が) 風下に転航すること

; 航路変更; 縦揺れ; (飛行機の) 急降下。

abattement [abatmɑ̃] *n. m.* 衰弱; 落胆, 意気銷沈。

tomber dans l'～, 意気銷沈する。

abatteur, *euse* [abatoœr, øz] *n.* 打倒す人; 伐採

者。 ～ *de besogne*. (俗) 熱心な働き手。 *grand ～*

de bois (de quilles), 大はら吹き。 ～ *n. f.* 伐採用

ター付回転鋸。

abattis [abati] *n. m.* 倒れたもの; 屠殺した獣; *pl.* (料)

屑肉, 雑物(さ); (俗) 手, 足; (軍) 屍體(さ)。

～ *de maisons*, 倒れた家。 *Tu peux numérotter tes ～!*

手足に番号をつけよくい(おれがふたなる前に、または、そんな危いことをする前に)。

abattoir [abatwa:r] *n. m.* 屠殺場; 凄惨な所。

abatire [abatir] *v. t.* 49 打倒す。切倒す。取壊す; 屠殺する。射落す; 打ち倒す; 倒す; 遊(持)札を見せる。～ de la besogne, (俗) en ～, セッセと仕事を。～ l'orgueil de qn, 誰の高慢をこへさせる。～ un avion, 飛行機を撃墜する。Petite pluie abat grand vent. (諺) 小雨天風を鎮める。Ne vous laissez pas ～, 力を落さないでください。

s'～, *v. pr.* 倒れる; 驚いかかる; 鎮まる; (熱などが) さがる; 志氣する。Le faucon s'abat sur sa proie. 鷹が獲物にかけて舞いおりる。Le vent s'abat. 風が落ちる。

abattu, *e* [abaty] (*part. pass.* < abatire) *adj.* 打倒された。切倒された。取壊した。落胆した。～ par la chaleur, 暑さうだった。

abatture [abaty:r] *n. f.* (くみなど) 打落すこと; *pl.* 獵。野獸の足跡。

abat-vent [abavɑ̃] *n. m. inv.* (建) 前戸。羽板(骨)。 (煙突の) 風よけ; (船) 風よけのこと。

abat-voix [abavwa] *n. m. inv.* (演壇の) 反響板。

Abbassides (les) [lezabasid] *n. m. pl.* (史) アッバース王朝 (バグダッドの回教王朝)。

abbatial, *e*, *aux* [abasjal], *o* *adj.* 修道院の。修道院長の。～ *n. f.* 修道院付属の会堂。

abbatial [abasjal] *n. m.* 修道院長の職(管区。権限)。

abbaye [ab(j)ɛ] *n. f.* 修道院。僧院。 [任期]。

abbé [abɛ] *n. m.* 修道院長。僧院長。僧。神父。師。

abbesse [abɛs] *n. f.* 尼僧院長。

abbevilleis, *e* [abviltwa, a:t] *adj.* フランスの町アブヴィル (Abbeville) の。～ *n. A* ～, フランス人。

abc [abɛs] *n. m. inv.* 74 アルファベット; 入門書; 基礎。 [形成。化體]。

abécédation [apsɛdasjɑ̃] *n. f.* (医) 膿瘍(2)。膿瘍。

abécéder [apɛde] *v. t.* 6 膿瘍になる。化膿する。

abcs [apsɛ] *n. m.* 膿瘍。腫物。

abd [abd] (アラビア語) 本仕者。下僕。の意を表し人名の前に付けられる (Abd el-Kader, Abd el-Melik)。

abdre [abdrɛ] *n. m.* (昆) 甲虫の一種。 [など]。

Abdère [abdrɛ] *n. f.* 古代トラキア (Thrace) の港都。

Abdias [abdisa] *n. m.* (聖書) ユダヤの小子計者の一人。 [得る(位。権力。職などを)]。

abdicable [abdikabl] *adj.* 棄て得る。譲り得る。辞し。

abdicataire [abdikate:r] *adj.* 譲った。辞した。棄てた(位。権力。職などを)。～ *n.* 棄権者。譲位者。辞職者。

abdication [abdikasjɑ̃] *n. f.* 棄権。辞職。譲位。

abdiquant, *e* [abdikɑ̃, a:t] *adj.* 譲位する。～ *n. m.* 譲位者。 [権利を] 棄てる。

abdiquer [abdiqe] *v. t.* (位を) 譲る。(職を) 辞する。

abdomen [abdomɛn] *n. m.* (羅) 腹部。本鼓腹。

abdominal, *e*, *aux* [abdominal, o] *adj.* 腹部の。

abducteur [abdykteu:r] *adj. m.* (解) 外転する。muscle ～, 外転筋。tube ～, 誘導管。～ *n. m.* 外転筋。 [測式]。

abduction [abdyksjɑ̃] *n. f.* (生) 外転; (論) 不明推。

abeausir [abezi:r] *v. t.* 16 (海) (天気が) よくなる。 [晴れる]。

s'～, *v. pr.* 晴れる。

abécé [abɛsɛ] *n. m.* アベキ; 子供の本。

abécédaire [abɛsɛdɛ:r] *adj.* アルファベットの; 初歩の。ordre ～, アルファベット順。～ *n. m.* 初学練習書。初歩(学科などの)。 [まね本]。

abécédé [abɛsɛde] *n. m.* アルファベット; 小読本。つ。

abecquement [abɛkmɑ̃] *n. m.* (鳥の) 哺育。

abecquer [abɛke] *v. t.* (鳥が) 雛を哺育する。

abée [abe] *n. f.* (水車)の 水口。

abeillage [abeja:ʒ] *n. m.* (封建時代の) 蜂養税。

abeille [abɛj] *n. f.* 12 蜜蜂。～ domestique, 飼蜂。～ mâle, 雄蜂。～ mère, 女王蜂。～ neutre, 無刺蜂。働き蜂。mid d'～s 蜜蜂の巣。

abeiller, **abeillier**, **ere** [abɛje, ɛ:r] *adj.* 蜜蜂の。industrie abeillier, 養蜂業。～ *n. m.* 養蜂場。

abélien, **enne** [abelje, ɛn] *adj.* (数) アーベル (Abel, ノルウェーの数学者) の。

aberrant, *e* [abɛr(ɑ̃), a:t] *adj.* 常軌を逸した。変態的。 [取巻(動。変体) 変態; 迷い。錯誤]。

aberration [abɛr(ɑ̃)sasjɑ̃] *n. f.* 1 光行差; (理) aberrer [abɛr(ɑ̃)ʁ] *v. t.* 1 惑る。誤る。

abêtir [abɛtir] *v. t.* 16 馬鹿にする。～ *v. t.* 馬鹿にする。 [なる]。

abêtissant, *e* [abɛtisɑ̃, a:t] *adj.* 馬鹿にする。

abêtissement [abɛtismɑ̃] *n. m.* 馬鹿にすること。馬鹿になること; 愚鈍。

abhorrible [abɔr(ɑ̃)bl] *adj.* 嫌うべき。憎むべき。

abhorrer [abɔr(ɑ̃)ʁ] *v. t.* 嫌う。憎む。～ de faire qch, 何するのを嫌う。Il abhorre qu'on lui fasse des éloges. 彼は人からほめられるのをひどいやがる。

s'～, *v. pr.* 自分を憎む。憎み合う。

Abia, **abja** *n. m.* (聖書) 紀元前十世紀末のユダヤ人。

abies, **abiés** [abjes] *n. m.* (植) もみ松。 [の王]。

abiétacées [abjetasɛ] *n. f. pl.* = abietinées。

abiétin, *e* [abɛtɛ, in] *adj.* (植) もみの。

abiétinées [abjetinɛ] *n. f. pl.* (植) もみ松。

abiétique [abjetik] *adj.* acide ～, (化) アビエチン酸。

Abigail [abigajl] *n. f.* (聖書) Nabab の妻。のちに David の妻。

-abilité [abilite] 「可能」の意をふくむ語に付けられ。

abime [abi:m] *n. m.* 深淵; 地獄。奈落; 窮極; 神秘。境。～ de science, 神学の境。creuser un ～ sous les pieds de qn, 誰をおとし入れようとする。être sur le bord de ～, 破滅に瀕している。l'～ appelle l'～, わざわいは続いて起る。les profonds ～s de l'océan, そこひとも知らぬわだつ。

abimé, *e* [abime] *adj.* 破れた。沈んだ。～ dans ses pensees, 考えに耽っている。～ de dettes, 借金で首の廻らない。marchandises ～es, いたんだ商品。

abimer [abime] *v. t.* 喰いこむ。沈める。破る。損う。沈ませる(悲しみなどに); (俗) 傷つける。非難する。～ qn dans la presse, 新聞で誰をこきおろす。～ qn d'injures, 誰を罵倒する。

s'～, *v. pr.* 落ちこむ; 沈む(悲しみなどに); 損われる。

s'～ dans la douleur, 悲しみに沈む。 **s'～ dans les flots**, 波にのまれる。 **s'～ la santé**, 健康を損う。

abiniestal [abɛstas] *loc. adv.* (羅) 道苦な。hériter ～, 遺言によりの相続をする。

abiogénèse [abjɔʒɛnasɛ] *n. f.* (生) 自然発生。

abiologie [abjɔʒi] *n. f.* (生) 無生。生活力欠如。

abiologique [abjɔʒik] *adj.* 無生の。生活力を欠く。

abirritant, *e* [abiritɑ̃, a:t] *adj.* (医) 過敏を興る; 鎮静の。

abirritation [abiritasjɑ̃] *n. f.* (医) 無力。衰弱。

abirriter [abirite] *v. t.* (体の一部の過敏を) 鎮める。

abismal, *e*, *aux* [abismal, o] *adj.* 深淵をなす。底の。

abject, *e* [absɛkt] *adj.* 下賤な; 卑しい。 [知られぬ]。

abjectement [abjektɑ̃mɑ̃] *adv.* 卑しく。下劣にも。

abjection [abjeksjɑ̃] *n. f.* 下賤。卑しさ。下劣。

abjurable [abjy:rabl] *adj.* 誓絶し得る。放棄し得る; 誓絶すべき。放棄すべき。 [義などの] 放棄。

abjuration [abjy:rasjɑ̃] *n. f.* (宗) 誓絶; (信仰。主

abjuratoire [abʒyrtwa:r] *adj.* 誓絶の; 放棄の, 取消しの, acte ~, 改宗の誓約(書).

abjurer [abʒy:r] *v. t.* (宗) 誓絶する(信仰, 主義などを)放棄する。~ toute pudeur, (俗) 廉恥心をかなく棄てる。

ab lactation [ablaktasj] *n. f.* (医) 離乳。[*m.* 専格]

ablatif, ive [ablatif, iv] *adj.* (文) 奪格の。~ *n.*

ablation [ablasj] *n. f.* (医) 切除; (地質) 削削作用; (文) 語頭文字の省略。[一種]

able [abl] *n. m.* はや, たなご, もっこ, もろこ (鯉科の)

-able [abl] 「可能」の意を示し形容詞に付せられるラテン系接尾語。

ablégal [ablég] *n. m.* (法王の) 使節代理。

ablegation [ablégasj] *n. f.* 法王使節代理の官位(任務)。

ablépsie [ablépsi] *n. f.* (医) 盲目, 失明; 知能喪失。

ablietier [abli:r] *n. m.* すくい網(角型で長い柄つき, 小)

ablette [ablet] *n. f.* = *able*。 [魚用]

ablier [abli:] *n. m.* = *ablietier*。

abluant, e [ablu:, dt] *adj.* 洗い清める, 洗滌する。

~ *n. m.* 洗滌剤。

abluer [ably:] *v. t.* 洗い清める(汚れた紙, 羊皮紙など)

ablution [ablysj] *n. f.* 洗身, みそぎ; (宗) 浄めの儀式, faire ses ~s, 体を清める, 体を洗う。

ablutionner [ablysion:] *v. t.* (宗) 浄める; (俗) 洗う。

s' ~, *v. pr.* (教師が) 指を洗う。

abnégalisme [abnégalism] *n. m.* 犠牲的精神。

abnégal [abnégal] *n. f.* 自己放棄, 犠牲, faire ~ de soi, 自己を犠牲にする。

Abner [abne:r] *n. m.* (聖書) Saül と David に仕へた

abnormité [abnormite] *n. f.* (生物) 異常。

aboi [abwa] *n. m.* (犬の) 吠声; (鹿の) 進退きま

った瞬間; 窮地, La police est aux ~s, 警察は策に

窮している。réduire (mettre) qn aux ~s, 誰を窮地に

追込む。

abolement, aboiment [abwam:] *n. m.* (犬の) 吠える

こと, 吠声; うるさい声。~s des critiques, 喧々

囂々の批評, pousser des ~s, (犬が) 吠える。

aboli, e [aboli] *adj.* 廃止された。

abolir [aboli:r] *v. t.* 16 廃止する; 禁止する。~ la

haine, 憎みを棄てる。

s' ~, *v. pr.* 廃止される。

abolissable [abolissabl] *adj.* 廃止してよい; 廃止すべき。

abolissement [abolissm:] *n. m.* 廃止。

abolisseur [abolisse:r] *n. m.* 廃止者。

abolitif, ive [abolitif, iv] *adj.* 廃止する。

abolition [abolisj] *n. f.* 廃止; 取消し。

abolitionnisme [abolisjionism] *n. m.* (史) 奴隷廢

止論(米国の); 関税廢止論, 自由貿易論。

abolitionniste [abolisjionist] *adj.* 奴隷廢止を唱え

る; 自由貿易主義の。~ *n.* 奴隷廢止論者; 自由

貿易主義者。

abolitoire [abolitwa:r] *adj.* 廢止の。

aboma [aboma] *n. m.* (動)(南米産の) うわばみ。

abomazom [abomazom] *n. m.* (動)(反芻動物の) 第四胃(普通 cailliette と呼ぶ)。

abominable [abominabl] *adj.* 憎むべき, いとわしい。

temps ~, いやな天気。

abominablement [abominablam:] *adv.* 憎らしいほど,

いとわしいくらい; 非常に(悪い意味で)。

abomination [abominasj] *n. f.* 憎悪, 嫌悪, いまい

ましいこと, avoir qn (qch) en ~, 誰(何)を憎む。

Ce café est une ~. このコーヒーはひどいものだ。

être en ~ à qn, 誰に憎まれる。

abominer [abomine] *v. t.* 憎む; 忌み嫌う; ひどく嫌う。

s' ~, *v. pr.* 憎み合う, 嫌い合う。「金; 内払い, 内金」

à-bon-compte [abk3m:] *n. m. inv.* (商) 前払い, 前

abondamment [abbdam:] *adv.* たくさんに, 豊富に。

abondance [abbd3a] *n. f.* 多量, 豊富, 水が溢った

酒, A ~ de bien(s) ne nuit pas. (諺) 下さるものなら

夏も小袖。~ du cœur, 心情の吐露, année d'~,

豊年, en ~, たくさんに, 豊かに, parler avec ~, 流

暢に話す, parler d'~, 即席に話す, une ~ de

fruits, たくさんの果物。

abondant, e [abdd, dt] *adj.* 多量の, 豊富な。~

en qch, 何に富んでいる, d'~, なお, かつ, hémor-

ragie ~e, 多量の出血, moisson ~e, 豊作,

orateur ~, 雄弁家, peu ~, 少い。

abonder [abde] *v. i.* たくさんにある, 富む。~ dans le

sens de qn, 誰の意見にすっかり共鳴する。Ce qui

abonde ne vicie pas. 多量益す, rivière qui

abonde en poisson, 魚の多い川, rue qui abonde de

piétons, 歩行者が一杯いる往来。

abonné, e [abone] *n.* 予約者; (新聞雑誌の) 購読者;

(電話の) 加入者; (ガス, 水道の) 使用者; (劇場, 鉄

道の) 定期券所有者。

abonnement [abonm:] *n. m.* (新聞購読, 電話使

用, ガス消費などの) 予約申込み。~ aux eaux de

la ville, 水道料。~ pour le téléphone, 電話料。

(carte d') ~, 定期券, prendre un ~ au Temps,

タン紙をとる。

abonner [abone] *v. t.* 予約に加入させる。~ qn à un

journal, 誰のために新聞購読の申込みをしてやる。

s' ~, *v. pr.* (月極年極の新聞雑誌の購読, ガス水

道の消費などを) 予約する; (電話の) 加入を申込み。

abonnir [aboni:r] *v. t.* 16 (酒などを) よくする。~ *v. i.*

よくする。 [を経てよくする。]

s' ~, *v. pr.* よくする, *s'* ~ en vieillissant, (酒が) 年

abonnissement [abonism:] *n. m.* よくすること, よくす

ること, 改良。

abord [abo:r] *n. m.* 近よること; 到着; 応待ぶり; pl.

付近の地, avoir l'~ difficile, 近づきにくい(人につ

いて), d'~, de premier ~, de prime ~, tout d'~,

まず初めに, d'~ que..., すると直ぐ, dès l'~, のっ

けから, en ~, (海) (船内または船の) 舷側に近く,

île d'un ~ difficile, 接岸のむずかしい島。

abordable [abordabl] *adj.* 近よれる; 親しめる。

abordage [aborda:] *n. m.* (敵船への) 乗込み; 衝突;

(船の) 横づけ, monter (sauter) à l'~, (敵船へ) 乗

込みをかける。

abordé, e [aborda] *adj.* 衝突された。~ *n.* 衝突され

た側(船など)。

abordée [aborde] *n. f.* à l'~, 最初に, d'~, 直ちに

aborder [aborde] *v. i.* 着岸する; 到着する。~ à un

port, 港に着く。~ *v. t.* 近づく; 衝突する; 始める。

~ la lecture d'un livre, 本を読み始める。~ un

vaisseau au quai, 船を渡場に横づけにする。

aborder [aborda:r] *adj. m.* (乗込みのための) 衝突す

る(船)。

aborigène [aborigen] *adj.* 土着の。~ *n.* 土着の人。

~ *n. m. pl.* 原住民(普通は indigène という)。

abornement [abornm:] *n. m.* 区切ること, 境する。

abornier [aborne] *v. t.* 区切る, 境する。 [こと]

abortif, ive [abortif, iv] *adj.* 流産の; 墮胎の; 不

熟の; (医) 頓挫性の。

about [abo] *n. m.* (馬の) 脚をしばる索。

about [abu] *a. m.* (アビア語) 父と意味し, 人名の前

に置かれその人の父であることを示す。